

話題 其の9: 後の祭り?

米国同時多発テロ事件以来、ヨルダンに在留するJICA関係者の安全対策会議等が時折開催されています。その中で、緊急退去を想定した準備に関する説明がありました。

まず、「パスポートと現金、貴重品等を機内持ち込み可能な手荷物サイズにまとめておくこと。次に、避難場所での生活や帰国を想定して、衣類など生活用品や個人にとっての貴重品を15kg程度トランクに詰めるか、詰める準備をしておく。最後に、他の物は荷造りして送り出せるように準備したほうがいいでしょう」とのことでした。

以前お知らせしたように、夏休みに家族がやってきて「父さんの好物」を届けてくれました。「これは持ち出し荷物じゃないぞ。と言って無駄にしたくないし、早めに食わないと・・・。」長崎ソーメン、鯖の缶詰・・・もう殆ど底を尽きました。「ちょっと待てよ。好物は日本に帰れば当たり前前に手に入るし、缶詰じゃなくて新鮮な鯖が・・・。それに、緊急時っていつ?」後の祭り。

話題 其の10: クラクションはいつ鳴らす?

ここでは必ずといっていいほど、青信号に変わる直前に誰となくクラクションを鳴らします。日本人にとってクラクションは遠慮がちに合図に使う以外は、非常時や緊急時に用いるものですよ。ですから、自分で運転はじめた当初は、クラクションを鳴らされるとまず緊張して「何があったの?」と判断できなくて混乱したものです。

でもクラクションの理由がやっとわかりました。それは、信号機の停止線の位置に問題ありなのです。日本の場合、多くの交差点には横断歩道があり、横断歩道の幅の分だけ信号機から離れます。それに、交差点を渡った向こう側にも信号機が設置されている場合もあります。ヨルダンの場合、赤信号での停止線は信号の真下です。停止線どおりに停車した最前列のドライバーがフロントガラスに額をくっつけるように首を伸ばしても信号はなかなか見えません。ちなみに日本の信号機は「赤・黄・青」のライトが横に並んでいますが、こちらでは縦に並んでいて、赤から青に変わる前に1秒前後黄色が点灯します。クラクションはこの黄色信号のとき鳴るのです。良く言えば「信号が変わったよ」と先頭の車両に教えているのですが、通常はクラクションの鳴らし方で「何やってんだよ、早くしろよ」と聞こえます。それに、横断歩道が設置された交差点もありますが、歩行者はもっぱら好きところで道路を横断するのです。それにしても、これを問題として改善しないところが興味深いですね。

話題 其の11: アラブ人なんでやねん?

イスラム教徒は1日に5回の祈りをします。お祈り時間前には、モスクに設置したスピーカーからアザーンと呼ばれる「礼拝を知らせる肉声」がどこに居ても聞こえてきます。アザーンの前後、男子トイレで事件(?)が発生します。私にとっては事件なのです。礼拝前の彼らは、手、腕、顔、頭髪、足・・・等を洗って清めます。その現場がトイレなのです。足の長い人もそうでない人も、靴下を脱いで洗面台に足を伸ばして洗います。しかも、殆どの人がタオルも持たず、トイレットペーパーを使うのです。トイレ内は水浸しで、トイレットペーパーは品切れになるのです。この毎日の風景に「何百年も続いてきた礼拝なんだから洗面台くらい低く作ったほうが良かったのに・・・」と的外れな発想をしている自分が滑稽でした。

(トイレで清めるのやめて、それにタオルは自分で持ってきて。って思わなきゃね???)